

CONTENTS

- 02 市長コラム
- 03 目次
 イベント情報
- 04 行政情報
- 06 上水道・下水道の今、そしてこれから
- 07 いきいき介護
- 08 健康いいカラダ
- 10 組織機構の見直し
- 12 庁舎内のご案内
- 14 職員退職等のお知らせ
- 15 組織・職員一覧
- 19 リレーコラム
 地域おこし協力隊
 宮岸 章さん
- 20 げんきな親子
- 22 平成29年度 仕事目標の成果
- 24 HOTな話題
- 25 歴史紀行
- 26 消防
- 27 警察
- 28 トピックス／募集
- 30 およこび・おくやみ
- 31 6月の相談
- 32 集まれ!安芸高田のアイドル



(今月の表紙)
平成30年度新入職員

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎お太助フォン 42-2111 (代)
八千代支所 ☎お太助フォン 52-2111
美土里支所 ☎お太助フォン 54-0311
高宮支所 ☎お太助フォン 57-0311
甲田支所 ☎お太助フォン 45-4111
向原支所 ☎お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8:30～17:15
(土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市ホームページ
<http://www.akitakata.jp>



6月のイベント情報

今月開催の市内イベント情報をお知らせします

6/±日 9-10 花しょうぶまつり

所 向原花しょうぶ園 (向原町坂)
期 9日:10時～16時・10日:9時～16時
場 R芸備線向原駅から徒歩3分
向原町観光協会 ☎46-7055

園内には約90種5,000株の花しょうぶが咲き乱れ、花しょうぶの株分け切花や大根販売、写生大会やバザーも行われます。



6/日 10 健康フェスタ2018

所 クリスタルアージュ園 9時30分～15時30分
場 健康長寿課 健康推進係
☎お太助フォン42-5633

各種健康チェック測定、歯科コーナー(フッ素塗布等)、アルコール相談など健康づくりに関する様々なコーナーが設けられます。
講演『温泉に親しみ温泉を活かす～保養地と温泉療養と入浴の健康づくり～』
広島大学大学院教授 鳥帽子田 彰氏 期10時30分～12時



6/±日 9 八千代ほたるまつり

所 上佐々井集会所周辺(八千代町上佐々井)
期 18時～
場 上佐々井元気になるう会
☎090-3633-2598



6/±日 16 保垣ほたる・かじか祭り

所 保垣生活センター (向原町保垣942-3)
期 16時～21時30分頃
場 実行委員会 ☎090-4142-6924



6/±日 16 川根ほたるまつり

所 エコミュージアム川根・やくし周辺
(高宮町川根1973)
期 16時～22時
場 エコミュージアム川根 ☎58-0001

7/日 8 第10回 あきたかた市民合唱祭

所 高宮田園パラスツォ (高宮町佐々部)
場 無料開場:13時 開演:13時30分
場 生涯学習課文化・スポーツ振興係
☎お太助フォン42-0054

市内で活動するコーラスグループが出演し、美しいハーモニーを響かせます。「広島ジュニアマリンパアンサンブル」や来場者との「ドレミの歌」の合唱、会場ではバザーも開かれます。



「八千代の丘美術館」の活用

美術館は、行政にとって必要かつ重要な施設であります。美術館の建設は容易にできても、収蔵する作品を収集することが非常に困難であるため、美術館の建設を見送る自治体が多いのが現状であります。近傍島根県の足立美術館は横山大観の作品を展示する美術館として、三次市の奥田元宋・小由女美術館は奥田元宋の作品を展示する美術館として建設されました。

本市には、旧八千代町から引き継がれた、「八千代の丘美術館」があります。この美術館は、有名作家の作品を展示するのではなく、新鋭作家の皆さまに、作業場を併設した展示場を一年間、一人一棟無償で使用していただくと同時に、創作した作品を展示していただく「長期個展」のシステムを取り入れています。15棟のアトリエ(作業場)を併設したギャラリー(展示場)があり、毎年入館される新鋭作家の皆さまが、一棟一棟で異なる個性を存分に発揮して活躍をされています。退館時には、作品を1点寄贈していただいております。これまで、17年間で延べ242人の方から、243点の作品を寄贈していただいております。

入館作家の選定にあたっては、比治山大学名誉教授寺本泰輔氏を会長とする「八千代の丘美術館作家選定審査会」において、部門(洋画・日本画・彫刻・陶芸・書道・刻字・染色等)、性別、年齢構成のバランスを考慮した上、相当な水準を有する作家を厳正に選定されています。入館作家に選ばれることは、広島地方の芸術・美術作家にとつてのステータス・シンボルとなっております。本市にとつて心強い現状であります。

入館作家の皆さまには、作品展示のほか、市の文化・芸術の振興にご協力をいただいております。特に市内の小・中学校や文化センターなどで、美術講座を積極的に行っていただいております。また画像指導等の実技教室を毎年実施されております。当館で開催する小・中学生の自画像展では、指導の成果が見られ、レベルの高い作品が展示されています。今後の展望としては、市の人口減対策の一環として、入館作家の皆さまが、本市の「関係人口」として、本市に興味を持ち、施策や行事に参加していただき、移住・定住に繋がることを願うものであります。そのためには、これまで入館作家の皆

さまから寄贈していただいた243点の貴重な作品を大切に展示・収蔵するスペースを確保する必要があると思っております。また、美術館による文化的な広がりは本市に限らず、行政区域を越えての効果が期待できると思っております。入館作家の皆さまは、ほとんど市外の方(広島市159人・廿日市市15人・呉市14人・東広島市12人・安芸高田市7人・その他35人)であり、広島県全体の文化・芸術の振興に大きく寄与している美術館であります。広島県・広島市の行政及び市民の皆さまに美術館の意義を理解していただき、広域の美術館として認めていただくべき努力をしていきたいと思います。

